

1 市の概要

人口	176,223 人
保護率	1.29 %

※人口は令和元年9月1日現在
保護率は令和元年9月分

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	10.4
プラン作成件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	0.5
就労支援対象者数人口10万人当たり (件) 一月当たり	0.5
就労・増収率(%)	40.0

4 事業実績（H30年度）

教室数	開催方法	登録人数	実施回数	延べ参加人数
4か所 1か所	平日週1回 毎週土曜日	生活保護6人、準要保護62人、計68人 生活保護2人、準要保護9人、計11人 計8人、計71人、計79人	195回 28回 計223回	1,546人 129人 計1,675人

5 事業実施のポイント

Point 学習以外の部分にも寄り添った支援の実施

- 参加児童生徒の親に対する相談会を実施(H30年度:11回開催, 11名参加)
- 「地域子ども食堂」と連携した学習支援事業の実施
- クリスマス会などイベントの実施



学習支援の様子



地域子ども食堂の様子

3 実施方法について

実施方法	委託（NPO法人ひたちNPOセンター・with you） 単年度随意契約
事業費	5,041千円（平成30年度）
理由（委託）	○以前から自主事業として実施している実績がありボランティア講師の確保をはじめ安定した事業運営を行うことができる。 ○熱意のあるボランティア講師による指導を行うことができる。
事業概要	○生活保護世帯、準要保護世帯等における、小学4年生～中学3年生を対象に平日毎週1回、市内の5か所で実施。（H30年度から中学3年生教室を1か所を追加） ○学生を含むボランティア講師（計20名）による個別指導方式で実施。 ○月1回開催される「地域子ども食堂」との連携。 ○公共交通機関により学習教室に通う児童生徒に対する交通費の全額助成。（平成30年度から市単費で実施）
課題	○準要保護世帯と比べると生活保護世帯の児童生徒が少ない。 ○親から開催数を増やして欲しいとの要望があり、中学生（土曜）教室の対象学年の拡大。 ○高校生（高校定着のための支援）への対象拡大。
その他特記事項	○参加児童生徒の親に対して、臨床心理士などによる悩み相談を実施するなど、親への支援にも力を入れている。

6 取り組んで良かったこと

○親へのアンケートの結果、参加させて良かった、学習習慣が身に付き成績が上がった、との意見が寄せられており、事業の成果を感じられる。

また、講師から学習以外のことでも言葉を交わし励ましてもらえることが嬉しいとの意見も寄せられている。

○中学3年生全員が県立高校に合格することができた。